



中学生の職場体験を受入れて

ICU 副主任 篠崎 純映

3年ぶりに地域の中学校2校から2年生6名の職場体験を受け入れることができました。

血圧・脈拍測定、肺音の聴診や、車椅子・ストレッチャーに乗るなどの医療者・患者体験を行い、最初は緊張していた表情も笑顔に変わり、楽しい職場体験になったのではないのでしょうか。

残念ながら、新型コロナウイルス感染者数の増加に伴い、直接患者さんと接する体験はできませんでした。しかし、この時期だからこそ、手洗い・手指消毒、個人用防護具の装着など、感染対策に関する体験を行いました。

普段、自分たちが行っている手洗い後に、チェッカーを

用いて、洗い残りの確認を行い、正しい手洗いを行いました。「今まで、手洗いしていたと思っていたけど、できていなかったことが分かった。学校へ戻ったらクラスの人に広めたい。」などの言葉が聞かれました。

これからの季節、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の流行にも備え、学校の感染予防隊として活躍してもらえると期待しています。

職場体験が医療・看護という職業を選ぶきっかけになることを願いながら、今後も地域とのかかわりを大切にしていきたいと思います。



「キッズジョブまつやま2022」に参加して

4N 病棟副主任 新 彰子



「キッズジョブまつやま2022」に参加いたしました。この取り組みは、松山市内の小中学生を対象とし、仕事の意義、仕組み、やり方などを体験することで、働くことの楽しさや厳しさを学び、地元企業への関心と理解を深めることを目的としています。

今年度は49の職業ブースが設けられ、小学4年生から中学3年生までの1000人が参加し、それぞれの

担当者に説明を受けながら、仕事の体験をしていきました。

看護師のブースには約70名の小中学生が参加し、救急時の手当への対応や消毒、包帯法などのシミュレーションを行い、体験してもらいました。参加者同士も初対面ということもあり、初めはぎこちない様子でしたが、お互いに声を掛け合いながら体験することで、徐々にコミュニケーションが取れるようになりました。1人に対し2回程度実施する時間的余裕があり、繰り返し行うことで、2回目はスムーズに実施できました。活き活きとした素敵な笑顔が印象的でした。

松山市民病院の理念として「松山市民病院は地域住民のために存在する」と掲げています。これからも松山市の中核病院としての品格を持ち、地域住民に寄り添った活動を実施していきたいと考えております。

